いっしょに考えていこう~BCP~ 災害時　その４０

守る！逃げる！判断して行動する！

熊本地震を受けていま、私たちがすべきこと。
BCP机上訓練として、再確認していきたいと思います。
同じ規模の地震が近くで発生した場合に、
□　ご利用者、職員の安全確認
□　管理者が不在でも判断できるか
□　重要な業務を続けられるか
□　停電や通信障害に対応できるか
□　ご家族や関係機関へ状況を説明できるか
をBCPと照らし合わせて確認します。

① ご利用者、職員の安全確認について

確認事項
- ・今いる場所
- ・けがの有無
- ・職員の家族の状況
- ・出社できるか

確認できた情報の範囲で、
- ・何人が活動できるか
- ・連絡がとれていない職員の把握
- ・どの業務を縮小するか
- ・業務の担当者を決める　　などを判断する

② 管理者が不在でもBCPが発動できるか

確認する内容
- ・BCPの発動基準
- ・発動を判断する責任者
- ・第1・第2代行者
- ・各拠点の現場責任者
- ・業務の縮小、優先順位を決められるスタッフ

③ 地震直後に止める業務と、続ける業務を分けているか

最優先で行う業務→人命安全、被害確認
縮小して続ける業務→勤務職員の人数に合わせて縮小
一時停止する業務→後日に延期しても命に影響が少ないもの

＊災害時にはすべてを同時に守ることはできません。
優先順位を決める観点として
- ・人命や安全への影響
- ・復旧に必要な時間　などを確認

④ 停電・断水・通信障害が同時に起きても対応できるか

停電時に確認すること
- ・パソコンやサーバー
- ・インターネット機器
- ・電話設備
- ・厨房機器
- ・照明
- ・空調
- ・エレベーター
- ・給排水設備
- ・携帯電話の充電
- ・非常用蓄電器

断水時に確認すること
- ・飲料水
- ・トイレ
- ・手洗い
- ・調理
- ・消火設備への影響

通信障害時に確認すること
- ・職員への連絡
- ・ご家族、関係機関への連絡
- ・法人内システム
- ・クラウドサービス
- ・データ確認

＊電話の外にも、SMS、メール、災害用伝言サービス、紙の連絡先など複数の手段を準備する
＊防災備蓄品の種類、量の確認。防災用品の準備

⑤ 食材量、医療品、介護用品などの物流の想定
- ・仕入れ先が停止した場合の代替先、代替品
- ・在庫管理
- ・別の会社への移行
- ・設備修理

＊代替先には事前に連絡しておくこと
＊代替品は数量、価格なども確認しておくこと
＊業者とは、普段から分散して、顔の見える関係を築いておくこと

⑥ BCPと備蓄・防災マニュアルの内容

＊情報の共有をしておかないと使えないものになってしまう

相互に確認する内容
- ・職員の施設内待機と帰宅の判断
- ・職員数と、ご利用者数の想定人数
- ・備蓄量
- ・避難場所
- ・安否確認方法
- ・初動時の責任者
- ・重要業務の担当者
- ・停電・断水時の対応
- ・BCP発動時の業務体制

⑦ 今回確認した内容を、訓練とBCPの更新につなげる

机上訓練
- ・管理者等が不在時の訓練
- ・職員の半数以上が出勤できない場合の訓練
- ・電話等が使えな時の訓練
- ・主要設備が停止した時の訓練
- ・食材料品などの納品ができない時の訓練
- ・ご家族との連絡対応の訓練

＊この状況で、誰が最初に判断するか
誰が業務内容を縮小判断するか
何を優先して復旧するか
職員配置
ご家族への連絡内容　などを確認する

＊BCP訓練の目的は、BCPの弱点を見つけること。成功させるために行うものではない。
確認、更新、訓練を重ねる事で、実際に動ける計画としていき、ご利用者、職員、地域を守る力にしていきたい。

あとがき

令和八年十月一日から法令が施行するハラスメント対策強化。主にカスタマーハラスメントについて対策を講じる事が義務化される。先日の施設長会で、他法人の施設長が「そもそも福祉施設においてカスハラ対策なんてナンセンスじゃないか」という意見もあった。ご利用者、ご家族の尊厳を守ること。職員の安心安全を守ること、どちらも大事。九月の理事会に向けしっかり準備していきたい。

竹

深田さん、94歳のお誕生日のお祝いを息子さんと♪
児童室の子供たちからのプレゼントに「お礼を誰に言ったらいいのかしら」と気にしておられました。

まだまだ夏バテ対策を！

ありがとうございます

川合様、草加様、佐古様、
三﨑様、麻生様、
由良様（日浦様）
中西様（岸様）、
佐々木様、
木村様、安達様、坂本様、
ヤマキ薬局様、
砂奥様（藤嶋様）
訪問看護ステーション
レジハピ様
トロピカルヘアー様